

戦争する国づくり許すな！岩国・爆音・潜水艦事故

井上参院議員、大平比例候補・小選挙区候補を先頭に



2月24日・25日井上哲士参議議員と大平喜信前衆議院議員は、米軍岩国基地、爆音被害が甚大な廿日市などを調査しました。調査では、岩

国市の愛宕山を守る会、宮島の大聖院や商店街、「岩国基地の拡張・強化に反対する広島県住民の会」などと懇談しました（写真左は大聖院）。調査には松田一志衆院山口2区予定候補、岩国市議、藤本さとし広島2区予定候補、辻恒雄広島県議が同行しました。（調査活動については2月28日付「赤旗」11面に大きく報道されています）

また、大平さんは2月16日、市民団体とともに潜水艦「そうりゅう」の衝突事故への抗議に海上自衛隊呉地方総監部へ出向き、原因究明と再発防止を申し入れました（写真右）。

大きな力をもらったオンライン志位演説会

参加支部86%、視聴箇所2000カ所、視聴者数5000人

感想アンケートも600人を超える

今回の取り組みは、「複数県をまたぐブロック主催」という点でも、「オンライン方式」という点でも新しい挑戦でした。

さらにアンケートが624人の視聴者から返ってきたのも大きな特徴です（3月1日時点）。その中には、39人がネットを通じて感想を寄せています。このネットアンケートも新しい取り組みでした。

当日大きなトラブルはなかったと報告されていますが、それは機関・支部指導部の方が、支部や党員に対して丁寧なサポートをされた結果です。

感想アンケートの中には、様々な改善点の指摘も多く寄せられています。ブロックとしての総括の会議も予定しています。出された意見からしっかり学び、今後に生かす決意です。ありがとうございました。（中国ブロック事務所）

